

先進的窓リノベ2026事業の概要

(断熱窓への改修促進等による住宅の省エネ・省CO2加速化支援事業)

令和7年度補正予算：1,125億円

1 制度の目的

2050年ネット・ゼロの実現や2030年度の温室効果ガス削減目標の達成に向けて、断熱性能の高い窓の導入を支援し、住宅の脱炭素化とウェルビーイング／高い生活の質の実現に貢献するとともに、先進的な断熱窓の導入加速により、価格低減による産業競争力強化・経済成長と温室効果ガスの排出削減を共に実現する。

2 補助対象

高い断熱性能を持つ窓への改修※に関する費用の一部を定額補助※※（上限100万円）（リフォーム事業者等が申請し、住宅所有者等に全額還元）

※ 補正予算案閣議決定日（令和7年11月28日）以降に対象工事（断熱窓への改修を含むリフォーム工事全体をいう）に着手したものを対象とする（下図参照）。なお、窓の改修と同一契約内でドア（開口部に取り付けられているものに限る）についても断熱性能の高いドアに改修する場合には、補助の対象とする。

※※ 補助単価については、一般的に要する費用の1/2以内で設定（次ページ参照）。



3 その他

対象工事のイメージ

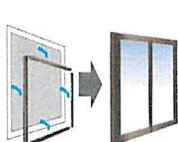
窓のリフォーム工事

高性能な断熱窓
(Uw値1.9以下等)
へのリフォーム

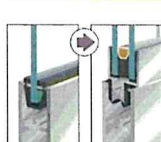
内窓設置



外窓交換



ガラス交換



先進的窓リノベ2025事業からの変更点

特大サイズの追加

内窓Aグレードを補助対象から除外

補助単価の見直し※詳細は次ページ参照

その他※追って更新

4 単価表

工種	グレード	戸建住宅				低層集合住宅	中高層集合住宅			
		特大※1	大※2	中※3	小※4	特大・大・中・小	特大※1	大※2	中※3	小※4
ガラス交換※5	SS	78,000	52,000	32,000	11,000	中高層 集合住宅 と同じ	86,000	57,000	35,000	12,000
	S	53,000	35,000	23,000	7,000		59,000	39,000	25,000	8,000
	A	41,000	27,000	18,000	5,000		45,000	30,000	20,000	6,000
内窓設置	SS	140,000	89,000	58,000	36,000		152,000	98,000	64,000	40,000
	S	76,000	52,000	34,000	22,000		83,000	57,000	37,000	24,000
	A	—	—	—	—		—	—	—	—
外窓交換 (カバー工法)	SS	239,000	188,000	138,000	89,000	戸建住宅 と同じ	302,000	229,000	156,000	92,000
	S	156,000	124,000	92,000	60,000		202,000	153,000	104,000	62,000
	A	116,000	88,000	66,000	41,000		174,000	133,000	92,000	54,000
外窓交換 (はつり工法)	SS	194,000	149,000	110,000	69,000		302,000	229,000	156,000	92,000
	S	117,000	92,000	68,000	44,000		202,000	153,000	104,000	62,000
	A	86,000	63,000	48,000	29,000		174,000	133,000	92,000	54,000

※1 特大：ガラス（一枚）の面積2.0㎡以上。サッシ（一箇所）の面積4.0㎡以上。

※2 大：ガラス（一枚）の面積1.4㎡以上2.0㎡未満。サッシ（一箇所）の面積2.8㎡以上4.0㎡未満。

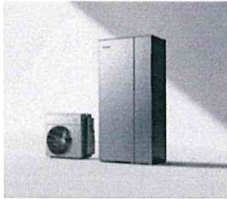
※2 中：ガラス（一枚）の面積0.8㎡以上1.4㎡未満。サッシ（一箇所）の面積1.6㎡以上2.8㎡未満。

※3 小：ガラス（一枚）の面積0.1㎡以上0.8㎡未満。サッシ（一箇所）の面積0.2㎡以上1.6㎡未満。

※4 ガラス交換は、箇所数ではなく、交換するガラスの枚数を乗じて算出。ドアに付くガラスのみ交換の改修は対象外。

高効率給湯器導入促進による家庭部門の省エネルギー推進事業費補助金【570億円】

- 家庭で最大のエネルギー消費源である給湯分野について、高効率給湯器の導入支援を行い、その普及拡大を図ることで、家庭部門におけるエネルギー消費量の削減に貢献する。
- R7年度補正では、一定程度の普及が進んできたことを踏まえ、①補助額を引き下げつつ、更なる支援台数の増加・加速を目指す（想定支援台数：R6補正 約45万台 → R7補正 約50万台）とともに、②要件を見直し、高性能製品（DR機能の具備など）へのシフトを目指す。

	ヒートポンプ給湯機 (エコキュート)	ハイブリッド給湯機	家庭用燃料電池 (エネファーム)
エネルギー源	電気	電気・ガス	ガス
価格 (機器・工事費)	55万円程度	57万円程度	139万円程度
主な補助額	13万円/台程度 (R6補正) →10万円/台程度 (R7補正)	15万円/台程度 (R6補正) →12万円/台程度 (R7補正)	20万円/台程度 (R6補正) →17万円/台程度 (R7補正)
商品イメージ	 出所：三菱電機	 出所：リンナイ	 出所：アイシン